

第2回生駒市総合計画審議会（第一部会）

開催日時 平成29年7月31日（月） 9：30～

開催場所 生駒市役所 401・402会議室

出席者

（委員）中川部会長、森岡委員、福谷委員、吉田委員

（事務局）坂谷政策企画推進課長、岡村政策企画推進課課長補佐、日高政策企画推進係長、
片山政策企画推進係員

欠席者 なし

議事内容

(1)各小分野の検証

(2)その他

【事務局】（開会宣告、配布資料確認）

以下、発言要旨

No. 143 財政

【森岡委員】 翌年度への繰越金が当初見込んでいた額よりも増えることは理解できるが、予算執行時に経費を圧縮しすぎているのではないか。一度継続が決定された事業が毎年廃止候補に挙げられるなど、形式的に毎年コスト削減が行われているのではないか。一度継続されたものは、少なくとも市長在任中は継続すべき。市民ファーストで、すべきサービスはきちんとしてほしい。

【中川部会長】 コスト削減を繰り返すことによって、事業自体をなくす方向に圧力がかかってしまう。コスト削減のために執行抑制の圧力がかかりすぎることは不健全だという意見を担当課に伝えてほしい。

【福谷委員】 コスト削減の効果を医療費助成等の市民サービスの充実に回してもらえたら良いと思う。また、生きいきクーポンは今必要ないケースもある。すぐ使わずに置いておけるようにしてほしい。

【事務局】 生きいきクーポンは今年から大幅に変わった制度なので、これから当事者などの意見を聞きながら改善していきたい。コスト削減の考え方としては、コストがかかるから事業を廃止するのではなく、すべきサービスについては、事業を継続した上で、業務の効率化による人件費の削減や入札方法の見直し等を検討し、コスト削減につなげている。

【中川部会長】 どうしてもコスト削減となると民営化、民間委託になってしまいがち。なんでもかんでもこの方向に圧力をかけてしまうと結果的に制度自体を破壊してしまうこともある。これからは、コスト削減だけを議論するのではなく、パフォーマンスの向上やサービス改善等の方向に思考をシフトしていくべきだと思う。小分野の評価としてはA評価で良いと思う。よろしいか。

【各委員】 (異議なし)

No. 144 職員・行政組織

【森岡委員】 このところ全体的に職員のやる気が下がっているように感じる。

【中川部会長】 人員削減や時間外削減の取組の結果、現場に疲れが蔓延してしまっているかもしれない。コスト削減の努力は認めるものの、そのことによって生じる職員の士気の低下などを点検する必要がある。

【森岡委員】 世代が変わって職員の感覚が変わってきている。昔と同じ取組み方ではなく、新しい取組み方を検討する必要がある。

【中川部会長】 行政の職員がサラリーマン化することによって、市民との距離ができてしまっている。職員の住民化を進めるとともに、市民も行政を知る努力が必要だと思う。評価はB評価で良いか。

【各委員】 (異議なし)

No. 461 バリアフリー

【森岡委員】 行政だけでなく、地権者など利害関係者の理解が必要なので、なかなか進まない。新しい市街地では整備が進んでいるが、古くからある街ではなかなか進んでいない。

【福谷委員】 市民意識が高い分野。あとは整備の予算が課題だと思う。

【中川部会長】 評価はCで良いと思う。バリアフリー整備の優先順位を市民の目に見える形で公表して、理解してもらえるようにする必要がある。

No. 471 災害対策

【福谷委員】 災害対策については、市民・行政ともに意識が高い。これからも継続して取組を進めてほしい。

【吉田委員】 マンションは耐震改修補助の対象になるのか。

【事務局】 改修補助は一戸建てが対象で、マンションは診断補助はあるが、改修補助の対象になっていない。

【吉田委員】 マンションも古い建物が多くなってきているので、対策が必要だと思う。また、避難所になっている体育館の天井が剥がれたというニュースも聞き、少し不安に思った。

【中川部会長】 旧耐震基準で建築されたマンションへの耐震改修補助は今後の課題である。評価としてはB評価で良いか。

【各委員】 (異議なし)

No. 472 自主防災

【福谷委員】 自主防災組織の組織率は高いが、自分が住んでいるところでは、活動を見たことがない。

【森岡委員】 自治会の役員が交代することにより、今まで積み重ねてきたノウハウが引き継がれなくなることがある。継続性が課題だと思う。総合防災訓練も4年に一回なので、プラスアルファの新たな取組も必要だと思う。

【中川部会長】 評価はBで良いと思うが、マンネリ化してアリバイ主義に陥る可能性がある。言われたから仕方なしに訓練を実施するだけでは、肝心の参加人数が忘れられがちになり、特定の人ばかりが参加する訓練になってしまう。延べ参加人数や参加率を把握して、その活動状況を検証する必要がある。

【森岡委員】 行政の組織体制が変わったことにより、良くなったところ、悪くなったところについても検証することが大事。

【中川部会長】 市民自治協議会ができてきているが、その活動の必須不可欠で基礎的な部分が防災・防犯である。これを疎かにして総合的なまちづくりはできない

い。行政の担当が替わったからといって縦割りにせず、防災・防犯を中核にして上手く包み込むことが大事。

№. 473 消防

【森岡委員】 非常に多くの課題に対して取組まれていると思う。

【福谷委員】 消防団で防火訪問を行っているが、5年前は火災警報器が設置されていない家も多かったが、今はほとんどの家で設置されている。普及してきていると思う。

【中川部会長】 生駒市の消防はレベルが高いと思う。住民と接する機会も多いので、総合的なまちづくり部局として位置づけ、アドバイスする立場になってほしい。他市でも、消防部局が総合的な住民自治協議会を作る支援チームに入っている。評価はB評価で良いと思う。

【森岡委員】 昨年、消防本部に自治連合会の研修の実施を申し入れた際、人員体制を理由に申し入れを断られたことがあり、良い印象がない。消防の活動にも市民の力が必要なので、取組を市民に説明する機会を積極的に受け入れていくべきではないか。

【中川部会長】 日ごろの訓練や取組を市民に向けてPRする良い機会であったにも関わらず、人員体制を理由に断ることはあってはいけないと思う。この件については、事実確認をして委員へ回答されたい。

【福谷委員】 行政全般に言えることだが、アポイントなしの急な対応を嫌がる傾向があると思う。地域に根付いた消防署として、いつ誰が来ても対応できるようにしてもらいたい。

№. 481 交通安全

【吉田委員】 以前、小学校の地区懇談会で出た課題に迅速に対応していただいたことがあり、良い印象を持っている。A評価でも良いと思った。

【福谷委員】 行政だけでなく、市民側がもっと交通マナーを守るように気を付けないといけないと思う。

【中川部会長】 特に自転車のマナー啓発が必要。自転車事故を軽く考えている人が多い。

【森岡委員】 子どもへの安全教室だけでなく、信号無視などマナーを守らない大人へ

の対策も重要である。取組まれていてもあまり知られていない。マナー違反が多発する交差点で動画を撮影し、事例として公開するのもひとつの方法だと思う。

【中川部会長】 交通安全の取組みは、アリバイ型にならず、工夫してもらいたい。マナーを守らないことをかっこ悪いと思わせることができれば効果が出る。評価としては、Bで良いか。

【各委員】 (異議なし)

No. 482 防犯・消費者保護

【福谷委員】 犯罪は待ってくれないので、防犯カメラの設置は優先的に早急に取り組んでほしい。犯罪抑止に繋がる。

【森岡委員】 自治会での防犯カメラの設置は、費用面やプライバシーの問題があり、難しいところもある。行政側も防犯カメラや防犯灯の公共的な設置を積極的に進めてもらいたい。

【事務局】 昨年、公共施設に108箇所、防犯カメラを設置した。また、ガイドラインを策定し、各自治会が設置できるように準備を進めている。

【福谷委員】 通学路に設置するのは難しいのか。

【事務局】 費用面の問題もあり、難しいところがある。

【森岡委員】 交通マナー向上のためにも防犯カメラを活用することができる。

【中川部会長】 通学路については、保護者はつけてほしいと思うだろうが、一般的な基準に照らし合わせると後回しになる。優先順位を決めて公表することが重要である。データ管理や電気代の負担など設置後の取扱い方法も決めておくべき。

【事務局】 ガイドラインを策定しており、プライバシーの配慮など設置時のルールやデータの管理方法など設置後の取扱いを明記している。

【森岡委員】 交通マナー向上のためにも防犯カメラを活用することができる。

【中川部会長】 行政が設置すべきところは順次設置されるが、それ以外は、市民のアクションによるもので、その運用についてはガイドラインに規定されている。ガイドラインは広く周知したほうが良い。評価はCで良いと思う。よろしいか。

【各委員】（異議なし）

【中川部会長】 本日本日予定していた審議案件については以上である。全般的に何かご意見等あるだろうか。

【森岡委員】 指標の中で、数値そのものが少ないものがあり、統計的に判断することができない。内容に関しても、読めば取組内容が理解できるようにしてほしい。総合計画審議会をはじめ市民から見られることを意識して、担当課は検証シートを記入してもらいたい

【中川部会長】 検証シートを記入するとき、総合計画審議会に評価してもらおうというスタンスではなく、市民とのコミュニケーションツールとして、こんな取組も実施しているという施策のアピールにも活用してほしい。

【事務局】（庶務連絡、閉会宣告）

—— 了 ——